

自由民主党  
京都市会  
議員団ニュース

平成24年(2012)11月10日発行

■発行人/津田大三 ■編集長/山本恵一・田中明秀  
〒604-8571 京都市中京区河原町御池  
TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091  
http://jimin-kyoto.jp/

No.39

# 平成25年度 予算・市政方針で要望

## 総力結集して 将来への発展

自由民主党京都市議員団は、10月26日、平成25年度京都市予算及び今後の市政方針に対する要望を門川大作市長に提出しました。要望は前文と各常任委員会別132項目と行政区別79項目(重複項目有り)からなっています。

門川市長に提出した要望の要点は次の通り。

2月の市長選挙において、門川市長は再選を果た

# 持続可能な財政確立

されましたが、選挙に先立ち、自由民主党京都市議員団が提案した15項目にわたる政策に基づいて策定された「未来の京都 まちづくりマニフェスト」を掲げ、市民の信託を得たところであり、任期1年目にあたっては、「はばたけ未来へ！京プラン」の実施計画を策定し、これからの京都のまちづくりの指針を示されています。

## 道路など環境整備

### 行政区別

▼北区 ゲリラ豪雨により土砂崩れをもたらす持続性をはじめ、危険箇所についての調査と補修工事の推進など9項目。

▼上京区 北野天満宮、上七軒エリアの世界遺産認定に向けて、地域とともに取り組むことなど7項目。

▼左京区 洛北山間部一

門川市長に25年度の要望書を渡す自民党議員団



少などにより、財政状況はさらに深刻さを増しています。しかし、将来にわたって発展していけるよう持続可能な財政を確立していく必要があります。

そのためにも、市民の皆さんと共に、我々議会も共に総力を結集して困難を克服していかねばなりません。そして、今回策定された実施計画を着実に実施されるよう望まれます。

帯の生活を踏まえて、花背峠トンネル化の早急な計画と実現など9項目。

▼中京区 子どもたちの通学路ともなっている三条通西高瀬川の安全対策と歩道の拡幅に府市協調により取り組むことなど5項目。

▼東山区 「歩いて楽しい東大路通」歩行空間創出事業が進捗しているが、よ

り慎重にという住民意見もいまだに多い。着実に推進するための財源を引き続き確保することなど4項目。

▼山科区 「おこしやす」やまの協議会」への一層の協力体制の充実と区内への観光誘致策を含む地下鉄東西線の旅客増対策を図ることなど5項目。

▼下京区 京都駅前の活性化や観光客等のおもてなし効果をより高めるため、塩小路通(東洞院)新町)及

### 各常任委員会

#### ▼経済総務委員会

「市民等提案制度」の創設による資産有効活用への推進といった市政改革はもとより、伝統産業の活性化や観光振興の充実による京都経済の発展、更には原子力事故計画確定による危機管理対策の徹底など34項目。

#### ▼くらし環境委員会

「みんなで目指そう！ごみ半減！循環のまち・京都プラン」に掲げるピーク時からのごみ半減の実現に向けた取り組みを含め20項目。

#### ▼教育福祉委員会

高齢者と子育て支援に関して市民生活の真の安全のため持続可能で安定的な施策の運営を図ること、新たな公立高等学校入学者選抜制度の下、生徒が主体的に

高校を選択できるような各校の特色ある取り組みの充実を図ることなど35項目。

#### ▼まちづくり委員会

集中豪雨対策、老朽家屋の安全対策、放置空き家の問題解決に向けての条例化の推進、違反広告物の取り締まりの強化、耐震リフォーム助成事業の充実など「安心・安全なまちづくり」に向けた施策など29項目。

#### ▼交通水道消防委員会

市バス・地下鉄事業の経営健全化団体からの脱却を目指した経営健全化計画の着実な取り組みを行うこと、上下水道を安全・安心・安定的に使い続けられるよう老朽管の取替えや耐震化等の推進、身近な地域の市民防災行動計画づくりの推進の強化など17項目。

び烏丸通(塩小路)七条)の駐輪対策や花と緑に溢れ、また景観にマッチしたベンチの設置等の整備を行うことなど11項目。

▼南区 塔の森グラウンドなど年間数万人の利用がある市民グラウンドが都市計画によって近い将来失われる可能性がある、代替地などその対策を早急に講じることなど4項目。

▼右京区 嵯峨野地域など観光客の多い世界文化遺

産等の歴史的街並みを残すべき地区の無電柱化をさらに積極的に推進することなど4項目。

▼西京区 桂川街道の北伸に向けて具体的な計画を作成し、実現に向けて協議を積み重ねることなど11項目。

▼伏見区 伏見区基本計画に掲げる都市計画道路羽東師墨染線等の整備の早期着手と、西羽東師支川等の整備及び区画整理事業の都市計画決定の促進など10項目。

# 代表質問

9月 10月1日 定例会

## 井上与一郎議員の質問項目

- 1 今市会上程の平成23年度決算の評価と今後の財政運営
- 2 森林環境税の導入
- 3 関西広域連合の取組と京都市の関わり
- 4 嵯峨・嵐山地区への抜本的な自動車流入抑制策の実施



依然解消できない嵯峨・嵐山地域の交通渋滞 (榊原堤)

# 森林環境税の導入を検討 安定した財源確保 景観を守る保全のため

井上与一郎議員 (右京区)

ます。

平口愛一郎副市長 (答弁)

井上与一郎議員 (質問) 健全な森林・林業によりもたらされる京都の景観や環境を守るためには、長い年月と各種施策の更なる拡充が必要であり、そのためには、安定した財源を確保し、脆弱な本市の財政基盤を強化することが重要です。課税自主権を活用した森林環境税の検討状況と、制度化に向けた見通しについて、ご所見をお伺い致します。

「森林環境税」は主に森林保全等の施策を推進するための財源として、住民税の均等割の超過課税という手法により、現在33の県と横浜市で導入されており、

## 嵯峨・嵐山へのクルマ流入抑制

井上与一郎議員 (質問) 本市では、嵯峨・嵐山地区での交通問題の解決を図るため、「嵐山交通対策研究会」を立ち上げ、今日まで12年間にわたり交通対策に取り組んでこられました。が、嵯峨・嵐山地区に至る道路での交通渋滞は依然として解消されておられません。

門川市長「フェスト」には、「クルマの市内への流入を抑制するため、混雑する道路への課金制度、いわゆるロードプライシングの導入に向けた社会実験の実施」が掲げられています。ロードプライシングの社会実験の実施には、観光シーズンにおける嵯峨・嵐山地区がよりよい地域であると思いますが、ご所見をお伺い致します。

確保する観点から京都府との協議を更に推進し、「森林環境税」について、しっかりと検討を進めてまいります。

# 地域の見守り活動を促進 顔の見える繋がりを 介護、生活支援の充実を

中川一雄議員 (伏見区)

## 顔の見える繋がりを 介護、生活支援の充実を

切です。

今年度から実施の「地域における見守り活動促進事業」はまさに、地域での絆づくり

## 中川一雄議員の質問項目

- 1 地域での見守りを必要とする方に対する支援の充実
- 2 南海トラフ巨大地震への対応方針
- 3 都市型水害
- 4 災害時における自主防災会・自治会の関わり
- 5 横大路運動公園への専用球技場誘致
- 6 伏見南西部地域問題
  - ・神川出張所の移転による機能充実と利便性の向上
  - ・久我・久我の杜・羽東師域における適正な宅地開発
  - ・横大路地域全体のまちづくり構想

「孤独死」が大きな社会問題の一つとなっているなか、痛ましい「孤独死」が起らない地域社会をつくるべく、一人暮らし高齢者などを見守り、そしてその居場所づくり、仲間づくりをすすめていくことが大切です。

門川大作市長 (答弁) 高齢者や障害のある方をはじめ、すべての市民にとって安心・安全なまちを作っていくためには、地域の皆様が相互に支え合う、自治が息づくまちを推進し、「顔の見える繋がりを」をつくるべく必要がございます。

をとお伺い致します。門川大作市長 (答弁) ロードプライシングは一定の地域でのクルマの利用に対して料金を徴収し、交通量の抑制を図る自動車流入抑制策で、混雑緩和の効果が期待でき、導入の可能性を検討する場合があります。

嵯峨・嵐山地域は有力な候補地と認識しております。しかし、国内では高速道路等一部の道路を除き、道路通行に際して料金の徴収が道路法で認められておらず、地域経済への影響や料金を徴収する対象者や方法等、克服すべ

き課題が山積しています。我が国において一般道路での導入事例はございませんが、海外の都市で導入され効果をあげていることから、本市における導入可能性を検討するため、研究を進めることとしております。

出張所がある久我・久我の杜・羽東師域は、伏見区役所へ行くにもバスしか交通手段がないなどの課題を有している地域であります。地域人口が3万人になろうとしているこの地域において、新しい神川出張所の機能充実とともに公共交通の利便性の向上を速やかに図る必要があると考えますが、いかがお考えですか。

# 地域の見守り活動を促進

## 顔の見える繋がりを 介護、生活支援の充実を

よう取り組んでまいります。同時に、本市や地域包括支援センター、地域の皆様が一体となり、医療や介護、生活支援サービスが切れ目なく利用いただける支援体制をつくってまいります。

## 神川出張所移転 機能の充実図れ

中川一雄議員 (質問) 神川



伏見区役所神川出張所の移転先となる久我の杜センター棟

先の新しい神川出張所は、現在の出張所の約2倍の床面積を有しています。また、高齢者の公的相談窓口である地域包括支援センターと隣接するなどの利点を生かし、その機能の充実を図ることとし、自主的なまちづくり活動や子供から高齢者までの交流の場として利用いただくことができ

るスペースを確保してまいります。なお、公共交通の利便性の向上につきましては、地域の皆様をはじめとした公共交通利用促進の取り組みと併せて、その充実を検討してまいります。

# 日本の食文化継承と発展

## 京料理など再認識 無形文化遺産に登録も

田中明秀議員 (西京区)

田中明秀議員 (質問) 京料理をはじめとする日本の食文化の継承とさらなる発展につながるよう京都市の無形文化財に「京料理」を指定してはいかがでしょうか。また、ユネスコの世界無形遺産登録に向けて、どのように取り組んでいかれるのか。併せて日本酒の消費拡大につながるよう日本酒で乾杯することや「食」と合わせた取り組みを進めるべきだと思えますが、どのようにお考えですか。

門川大作市長 (答弁) 平成25年のユネスコ無形文化遺産登録に向けて、その気運を盛り上げるため、国、京都府、料理関係団体の皆様と連携して「日本料理文化博覧会」を本年11月に開催いたします。また、京料理など京都に伝わる伝統的な文化の価値を再認識し、その素晴らしさを内外に発信するとともに、次代に伝えるための京都独自の新たな仕組みの創設など、より効果のある手法を検討してまいります。

- 田中明秀議員の質問項目**
- 1 交通局・経営健全化計画の3年間の進捗状況と駅ナカビジネスの今後の展開
  - 2 上下水道局・次期経営計画
  - 3 リニア中央新幹線の「京都駅ルート」の誘致
  - 4 京都市街路樹100周年
  - 5 日本の食文化の継承・発展と日本酒の消費拡大
  - 6 LED照明導入促進
  - 7 高齢者の緊急通報システムの「IP電話」の活用
  - 8 地下鉄の西伸

もに「食」とのコラボレーションに加え、様々な伝統産業との連携事業も展開してまいります。

洛西への地下鉄延伸検討が必要  
田中明秀議員 (質問) 地下鉄東西線の洛西延伸について



このほど開業式典が行われたKotochika京都

## 駅ナカビジネス 積極的な展開へ

田中明秀議員 (質問) 駅ナカ

カビジネスを今後どのように展開されようとしていくのか、お考えをお聞かせください。

門川大作市長 (答弁) 駅ナカビジネスは、四条、御池、

京都へとコトチカを展開し、5億円の収入目標を一年前倒しで達成できる見込みであります。今後は誘客数の多い北大路駅、山科駅のコトチカの施設や更なる店舗の拡充など、それぞれの駅の特性を踏まえた展開を関係者のご協力もいただきながら積極的に図って参ります。

LR Tやモノレール等、様々な手法を検討していくべきと考えますが、いかがですか。  
門川大作市長 (答弁) 地下鉄の洛西延伸につきまして

# 生活保護制度の適正化へ

## 不正受給根絶せよ 就労支援の取り組みを

吉井あきら議員 (山科区)

吉井あきら議員 (質問) 市は24年度当初予算として一般会計予算の一割を超える78億円の生活保護扶助費の予算を計上。受給すべき方が受給でき、働ける方には働いてもらう「不正に対して毅然と対応」し「就労を支援」して、制度への市民の理解と信頼を得ることが必要です。市の就労支援に向けた取り組み

であります。しかしながら、地下鉄事業の借入金残高が4500億円を超えている現状を踏まえますと残念ながら延伸を取り巻く環境は変わっていないことをご理解賜ります

組み、不正受給対策はじめ適正化の推進に関する現在の状況、そして不正受給根絶に向けた決意をお答えください。  
門川大作市長 (答弁) 就労支援についてはハローワークの就労支援コーナーを本年12月から区役所支所に開設。不正受給については警察と連携し、これまで6件の悪質な不正受給の告発、3件の指定医療機関等の指定取り消しを行う厳正な取り組みを進めており、今後も不正受給は断固と

生活保護は、いのちと暮らしを守る大切なセーフティネット

だから不正受給は許さない!!

生活保護は、いのちと暮らしを守る大切なセーフティネットとして、あらゆる努力をしてもなお生活に困っている方々に対して、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともにその自立を助長する大切な制度です。

生活保護の不正受給は、適正な収入等の届出を行わずに、本来よりも多額の保護費を受給するもので、生活保護制度への市民の信頼を揺るがすことにもなり、たとえわずかであっても絶対に許すことはできません。

京都市では、不正受給を見つけ次第、不正に受給した保護費の返還を求めるとともに、平成23年4月に「生活保護適正化推進担当」チームを設けて、特に悪質と認められるものについて警察への告発等を行っています。

京都市保健福祉局生活福祉部地域福祉課「生活保護適正化推進担当」  
電話 075-251-5600

生活保護扶助費の不正受給根絶を訴える京都市のポスター

よう、お願い申し上げます。バス事業の充実等、公共交通の利便性向上を力強く推進すると共に、洛西地域にふさわしい新しい交通システムについて検討して参ります。

## 吉井あきら議員の質問項目

- 1 皇族の方々に京都にお住まいいただく「双京構想」の実現
- 2 教科書採択
- 3 いじめ問題
- 4 生活保護制度
- 5 ショートステイの食費設定の是正
- 6 介護(介護予防)給付の償還払い
- 7 本市の大学政策
- 8 地元の案件

## いじめの撲滅へ 根本的な対応を

吉井あきら議員 (質問) い

じめられ自殺を考える子どもにすれば、すぐにでも警察に助けをほしいと思っております。社会で許されないことは学校内でも許されないという毅然とした対応が大切です。

また特別な事案以外は、学校でもどこでも、子どもに対する責任は親にあると考えます。それを我々親はしっかりと認識し、保護者・地域と一体

となり、より一層、警察はじめ関係機関と連携し、いじめ撲滅に取り組むことが必要だと考えますがいかがですか。  
生田義久教育長 (答弁) 警察等関係機関との連携、生徒自身によるいじめを許さない宣言の発信の取り組みを進めています。保護者・地域・警察等の関係機関と一体となり「社会で許されない行為は学校でも許さない」との毅然とした姿勢でいじめ問題の解決や立ち直り支援の充実に向け全力で取り組んで参ります。

## 京都刑務所跡地 有効活用に向け

吉井あきら議員 (質問) 山

科の中心部に位置する昭和2年に移転された10万7035㎡の京都刑務所。今後の京都市、山科区の発展に、この土地の活用は不可欠です。第2期山科区基本計画の策定に当たり、区民の皆様からも「京都刑務所の移転を進め今後の活用方法を模索すべき」というご意見をいただき、市の財政状況等を考えても、例えば大学誘致など、あらゆる知恵を集め、進めていただきたいと思えますが、いかがですか。

塚本稔副市長 (答弁) 刑務所が移転し、その跡地が活用出来れば山科区、ひいては京都市のまちづくり大いに寄与できるため、今後研究を深めてまいります。

# 自由民主党京都市会議員団

## 経済総務委員会

経済総務委員会では、特別の財源対策に依存しない財政構造の確立に向けて、資産の有効活用などの徹底した行財政改革の推進について議論するとともに、京都のまちの活性化のため伝統産業や観光振興などについても、幅広く議論しています。

(右京区) 井上与一郎 (伏見区) 繁 隆夫



(上京区) 寺田 一博 (伏見区) 中川 一雄



## くらし環境委員会

くらし環境委員会では、世界の文化首都・京都市を年間テーマとして、この一年間、多岐にわたるエネルギーの活用や京都の魅力でもある芸術や文化に加え、京都マラソンをはじめ市民スポーツの振興などを中心に市民生活の向上につながるよう審議しています。

(下京区) 下村あきら (山科区) 富 きくお



(西京区) 西村 義直 (山科区) 吉井あきら



## 教育福祉委員会

教育福祉委員会では、子ども達や高齢者が安心して過ごせる福祉施設の耐震化を求め、また社会や家族環境の変化により多様化する「いじめ」問題の根絶に向けた教育現場の在り方等について議論を行っています。

(左京区) 大西 均 (北区) 小林 正明 (左京区) 桜井 泰広



(伏見区) 橋村 芳和 (北区) 山本 恵一



# 常任委員会の議論と取り組み

氏名の◎は委員長  
○は副委員長

## まちづくり委員会

(東山区) 内海 貴夫 (右京区) 田中 英之



(上京区) ◎中村三之助 (南区) 椋田 隆知



まちづくり委員会は、魅力的な京都のまちづくりを進めるため、京都駅南口駅前広場の整備や「歩くまち・京都」の推進に取り組むと共に、橋りょうの耐震補強や老朽化修繕、通学路の安全対策など幅広く議論をしています。

## 交通水道消防委員会

(中京区) 加藤 盛司 (南区) 島本 京司 (伏見区) 高橋泰一郎



(西京区) ◎田中 明秀 (中京区) 津田 大三 (右京区) 山元 あき



交通水道消防委員会では、地下鉄5万人増客にむけた取り組みや鉛製給水管の単独取替工事の推進について、また災害に強く安心して住み続けられる安心都市京都の実現を目指し、地域密着型の消防について議論をしています。

皆さんのご意見や  
ご要望をお寄せ下さい。

自由民主党  
京都市会議員団

〒604-8571  
京都市中京区  
河原町御池

jimin3@nifty.com  
FAX.257-3091

市会の各種委員会は、常任委員会のほかに市会改革推進委員会(監視機能の強化、政策立案機能の充実と市民に開かれた市会の推進)、市会運営委員会(市会内部の連絡交渉、その他の議事運営)及び予算・決算特別委員会が設置されています。

なお、議会閉会中の常任委員会は、毎月第2、4週を基本に経済総務委員会を月曜、くらし環境委員会を火曜、教育福祉委員会を水曜、まちづくり委員会を木曜、交通水道消防委員会を金曜に開会しています。